ア　食をめぐる世界の動向
イ　食と生活の動向
ウ　食生活と健康
(3) 食品の流通・保管と物流
ア　食品流通の構造
イ　食品の保管
ウ　物流と情報システム
エ　食品の品質管理
オ　食品の輸出入
(4) 食品のマーケティング
ア　食品マーケティングの概要
イ　食品マーケティング戦略
ウ　食品のブランド化
(5) 食品流通とマーケティングの実践
ア　市場調査・環境分析
イ　マーケティング戦略の策定
ウ　食品マーケティングの実践と評価

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　農業生産，食品製造から流通・消費までの食料供給の仕組みを理解できるよう留意して指導すること。また，プロジェクト学習では観察や実験・実習を通して，科学的かつ創造的に学習を進め，食品流通に関する実践力が身に付くようにすること。なお，地域農業の実態や学科の特色等に応じて，適切な題材を選定すること。
イ　〔指導項目〕の(1)については，科目学習の導入として扱うこと。また，(5)については，(1)を踏まえ，(2)から(4)までと並行して，又はそれらを学習した後に扱うこと。
(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(1)については，農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。
イ　〔指導項目〕の(2)については，世界と日本の食の動向について，世界的な視点と身近な食生活の視点から扱うこと。
ウ　〔指導項目〕の(3)については，食品トレーサビリティシステムなどの品質管理と適正な食品表示について扱うこと。また，危害分析・重要管理点方式及び食品安全マネジメントシステムなどの考え方や方法についても扱うこと。
エ　〔指導項目〕の(4)については，マーケティングの原理，方法，ブランド化について具体的に扱うこと。
オ　〔指導項目〕の(5)については，顧客の視点からの分析，マーケティング戦略の策定，実践と評価を具体的に行うこと。

第19　森林科学

1　目　標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，森林の構造や機能並びに保全技術などを科学的に捉えるために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 森林科学について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 森林科学に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 森林を科学的に捉えるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。
〔指導項目〕
(1) 「森林科学」とプロジェクト学習
ア　森林科学に関するプロジェクト学習の意義
イ　プロジェクト学習の進め方
(2) 森林と樹木
ア　森林の特性
イ　樹木の特性
ウ　林木の立地環境
(3) 森林生態系の構造と多面的機能
ア　森林生態系の構造
イ　森林植生遷移と森林の発達段階
ウ　森林の構造と多面的機能との関係
(4) 森林の機能と目標林型
ア　森林の機能と生態系サービス
イ　目標林型